

ノロウイルス食中毒・感染性胃腸炎の予防方法

① 正しい手洗いの徹底

調理前、食事前、トイレの後、オムツ交換後、吐物の処理後は、特に念入りに手を洗いましょう。
使い捨て手袋の使用も有効です。爪を切り、時計や指輪等を外した状態で手洗いを始めましょう。



② 調理する人の体調に注意

下痢や嘔吐などの症状がある場合は、ノロウイルスに感染している可能性がありますので、直接食品に触れる作業は控えましょう。**症状がなくても感染している場合があります。**日頃から手洗いをしっかり行い、使い捨て手袋を使用するなどして、食品の汚染や他の人への感染を防ぎましょう。

③ 食品は中心部まで十分加熱

中心温度85～90℃で90秒間以上加熱しましょう。
加熱調理後も、再汚染のないよう取扱いに注意！

④ 調理器具などを洗浄・消毒

まな板、包丁、食器、ふきん等は、十分に洗浄した後、熱湯(85～90℃で90秒間以上)又は、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度約0.02%)で消毒しましょう。

⑤ 患者の吐物は適切に処理

患者の吐物や便には感染力のあるウイルスが残っている可能性があります。

処理のポイントは以下のとおりです。

- ◆ 使い捨てマスクと手袋、エプロンを着用する。
- ◆ ウイルスが飛び散らないように吐物・便をペーパータオルで覆い、次亜塩素酸ナトリウム(塩素濃度約0.1%)で浸すように静かにふき取る。
- ◆ 処理後は念入りに手を洗う。

消毒液の作り方

